

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
◆子どもの「学び」の高まりと 自尊感情の醸成	○「人・もの・こと」との関わりを大切にし、学ぶことの意義や楽しさを感じる授業づくりを推進します。 ○一人ひとりの自己肯定感を高め、思いやりの心を育む児童支援の充実を図ります。 ○健康的な生活習慣の形成・健康な心身をつくる体力づくりの取組を継続します。
◆子どもを真ん中にした『チーム牛久保』の協働推進	○家庭・地域・各関係機関等と連携し、子どもを真ん中にした「チーム牛久保」としての取組をすすめます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	○「フレンドチーム」(縦割り活動)等の異学年交流や体験的な活動を充実させ、自他を尊重する心を持ち、自分で考えよいと判断したことを進んで行う子を育てる。	①道徳の学習を通して、自らを振り返り、よりよく生きようとする心を育む。 ②子どもが主体的に活動できる場を設定する。フレンドチームなど異学年を意識した活動を行い、友達や相手を思いやる心を育成する。 ③牛久保のまちに目を向け、地域の方と関わり、体験的な活動を「本物」に触れ、豊かな感性を磨く。
担当	○児童活動企画運営部 心豊かな生活環境部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

まち全体が計画的に整備され、自然も豊かで生活的にも学習的にも恵まれた環境にある。地域の協力体制も厚い。児童は素直で、言われたこと、決められたことはできるが、一人ひとりの自尊感情、忍耐力は高くはなく、自ら進んで正しい判断のもとに行動していこうとする力はまだ十分でない。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳科」の充実

- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の「道徳科」との関連を図り、豊かな体験活動を生かして指導を行う。
- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に年1回以上公開する。

指針2 体験学習の充実

- ・フレンドチームの活動を充実させるために児童が主体で考えるフレンドタイムを積み重ねる。また、幼保小交流など異学年とのかかわりや牛久保の「まち」に目を向け、心や感性を育てるように、地域教材や体験的な活動を取り入れていく。

指針3 人権教育の充実

- ・人権週間の取組を系統的に行い、全校で人権への意識を高める。
- ・日常や学年研、三部会、職員会議等で、具体的な子どもの姿で語ることを大切にする。
- ・いじめや不登校などの諸課題に対し、担任だけでなく、学年や専任、各関係機関等との連携を図り、組織的に対応にあたる。
- ・あいさつ週間の取組では、保護者や地域への啓発を図って、協同で取り組む。
- ・月別生活目標・保健目標・給食目標をもとに、全職員が共通した指導を行う。
- ・特別支援教育に関する研修を充実させ、教員一人ひとりの専門性を高め、適切な指導・支援ができるようにする。